

腹腔鏡下腎臓摘出術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/ /		/ /		/ /		/ /		
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目～	術後4日目～	術後6日目 退院日	
目標	手術の準備を整えることができる。		血圧や脈拍など循環状態に異常がない。 血尿の増悪がなく、尿の流出が順調である。 創部、ドレーンからの排液性状に問題がない。 疼痛コントロールができています。				排便のコントロールができています。		
処置	弾性ストッキングのサイズを測定します。	手術する側の耳に印をつけます。 体温、脈拍、血圧を測ります。 入れ歯、指輪等の貴金属類はすべてはずします。 弾性ストッキングをはきます。	適宜、体温・血圧・脈拍を測ります。 腹部に管が入っています。→ 背中に痛み止めの管が入ります。 心電図モニターを装着します。 酸素吸入します。	状態に応じて術後数日で管を抜きます。→	心電図モニターをはずします。 酸素吸入を終了します。	必要に応じて背中 の痛み止めの管を抜きます。			
点滴			点滴をします。→		→ 食事が十分に摂れている場合、点滴終了となります。				
お薬	持参薬の確認をします。 お薬手帳がある場合は持参してください。 15時、21時に下剤を内服します。	朝、持参薬は指示されたものだけ内服します。			持参薬が再開になります。 * 抗血栓薬等は指示があるまで中止です。		抗血栓薬・抗凝固薬を服用している方は 月 日から再開してください。		
検査	必要時、採血があります。				採血 		採血 (術後4日目) 		
食事	夕食のときに術前飲料水が できます。 21時以降は食事はできません。 	食事をとることはできません。 朝まで術前飲料水を飲むことができます。 □ 午前手術 → 朝7時まで □ 午後手術 → 朝9時まで	食事や水分をとることはできません。 ベッド上でうがいをすることはできません。 	朝から水分がとれるようになります。 状態に応じて昼食から食事が始まります。 					
活動 安静度	制限はありません。		ベッド上で安静に過ごします。 起き上がることはできませんが、 寝返りはできます。必要時、体の向きを変えます。		朝から起き上がることができます。 座る練習から始め、その後 看護師と歩く練習をします。		制限はありません。		
排泄			尿の管が入り、自然に尿が排出されます。 痛い時や違和感が強い場合は、 看護師を呼んでください。 排便はベッド上で行いますので 看護師にお知らせください。		状態に応じて尿の管を抜きます。 尿の管を抜いた後は、尿の量や色を観察する ため尿をトイレにある袋にためてください。 詳細は看護師が説明します。 				
清潔	シャワーに入ります。 	 何かあったらすぐにナースコールを押してくださいね。		温かいタオルで体を拭きます。 		お腹の管が全て抜け、傷に問題がなければ シャワー浴が可能です。 			
説明 指導	病棟を案内し、入院中の生活とスケジュールについて説明します。 同意書等の書類を確認しお預かりします。		 痛みやお腹が張った感じがする場合は、我慢しすぎずに看護師に知らせてください。		便秘傾向の場合は、医療者へ相談してください。 過度ないきみはよくありません。 尿の袋は腰の高さより持ち上げないでください。		退院前に食事指導があります。 		退院時の書類と診察券をお渡しし、退院の手続きについて説明します。 次回外来の説明をします。



38度以上の発熱や腹痛、傷が赤くなったり腫れたりするなどの症状があれば、外来にご連絡、ご相談ください。